

「事業名：外国語教育、環境教育を活用した『持続可能なまちづくり』創造事業」

獨協大学 連携市町村：田村市

現地拠点：田村市船引町石森館108 テラス石森内

事業のポイント

本学と田村市との間で継続的な連携関係を構築し、これまで大学が培ってきた「外国語教育」「環境教育」に関する資源やノウハウを活かした事業を展開し、情報発信と「環境に配慮した持続可能なまちづくり」の仕組みを構築し、それを相双地域の他の浜通り市町村に展開していく。

人材育成目標

本学と浜通り市町村等において、SDGs達成の担い手と復興に貢献する人材の育成を目標とする。本学の学生や地域の子ども・若者をはじめとする住民が、持続可能な社会を実現するために地域社会や国際社会において活躍できるようになることが目的である。

2025年度の活動内容

- ・田村市立小・中学校において、学生による環境教育・SDGs教育を実施する。
- ・田村市学校教育課が開講している「たむらチャレンジ塾」等の英語の授業に協力する。
- ・福島県立船引高等学校において「総合的な探究の時間」の地域課題探究活動の企画・実施に協力する。
- ・田村市地球温暖化対策実行計画の施策展開に向けて協力し、地球温暖化対策のイベントの開催に協力する。
- ・田村市の地域資源と地域課題、またニーズを把握するため、フィールドワークを実施する。
- ・田村市の観光資源・地域資源に関する多言語化プロジェクトを進展させる。観光サイトの多言語化に向けて協力する。大阪・関西万博に向けたエゴマ油リーフレットの多言語化に協力する。
- ・本学ホームページの「復興知事業」サイトから常時、復興知事業についての情報発信をしていく。

取り組みによって得られる成果

- ・地域の子どもが国際社会の中で地域社会の課題を捉え、自分の将来設計ができるようになる。
- ・地域の子ども・若者、社会人が地域の価値を再認識し、地域への愛着、当事者意識が高まる。
- ・地域において持続可能なまちづくりの意識が高まり、環境への取り組み、地域づくりが活発化する。
- ・本学学生の福島県復興支援、持続可能なまちづくりやSDGsへの学びが盛んになる。
- ・海外からの留学生が福島について学ぶ機会となり、福島の復興に対する正しい認識につながる。



小学校における環境教育・SDGs教育を実施



船引高校「総合的な探究の時間」における地域課題探究活動に協力



地球温暖化対策イベントの実施